

事業所名	阿賀なかよし園		公表日 令和 6 年 12 月 10 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		メインルーム、学習室、プレイルームと用途により区分し使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員10名に対し、1名増員し、4名の職員、状況によっては5人態勢とし対応	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		学習室、プレイルームの出入口に何の部屋かが分かるよう、絵でも表示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		メインルーム、学習室、プレイルームと用途により区分し使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室はないので、状況により学習室にパーティションを利用して、個別の場所を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		行事計画等に活かしている。	事後全体会議にて問題点を改善したサイクルを形成し、次回に向けた計画を明記する必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の要望もあり、LINEの活用を始めた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングで、子どもの状況確認を実施し、半年に1回全職員（含むパート職員）で会議を開き、改善策を取っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価の実施はないが、社会福祉法人大空会で2か月ごとに実施する「障害事業所会議」での評価を得て業務改善に繋げる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		出来る範囲で参加する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		定期的に作成するとともに、必要の都度作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		相談員と連絡を密として計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		必要の都度全職員でのミーティングを通じ検討し、情報の共有を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		必要の都度全職員でのミーティングを通じ検討し、情報の共有を図っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		実施にあたる資格要件がかなり高いことから、発達障害のように、はっきり目に見えない知的・社会的ハンディキャップをいまだ可視化できていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		今回変更になった支援項目を満たすべく具体的に支援内容を定めた。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		社会見学や児童発達との合同行事を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		遊びの中で社会性を育んだり、身体機能の向上が図れたりするように工夫している。	

児 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況に応じて計画を作成し支援に臨んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にミーティングを実施し支援の連携を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々の反省及び特記事項等については、その日のうちに正社員間で共有し、翌日のミーティングで善後策について皆で共有している。	送迎後のため時間の確保が難しいことから、左記の方法を取っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		職員が2～3名の児童を観察しながら記録を取って、以後の参考としている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		相談員と連携し適切に見直しを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		子供が興味を持つよう、地域交流の一環で、屋外での羊の餌やり体験、工場見学等、また、室内での遊び（危険なことを除く）も自由に決めて遊ばせることも行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		トランプ遊びの中で、ルールが理解できない子に対して、リーダー的役割の子が、その子が理解できるルールに変えて遊ぶことなど、その都度見守っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者は必ず参加し、自発管も必要に応じて参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			積極的な連携はやっていないが、必要に応じて参加し協力する体制は取る必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の年間計画・行事予定等の入手、下校時刻の把握、送迎時の対応（トラブル発生時を含む。）等に務めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		駅前なかよし園と就園前に遠足支援、行事等の相互実施などで、情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		その都度情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			積極的な連携はやっていないが、必要に応じて参加できる体制は取る必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		一緒に、公園遊びや人形劇、クリスマス会等へ積極的に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			出来る範囲で参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にその日の状況、様子を伝えたり、ラインでも伝え合って、共通認識を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者が定期的に運営している会のパンフレットを利用者の家族に配布し、参加を促している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入園児に説明し、再度質問等があれば	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年2回の親との懇談で確認し、実施に移している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		年2回の保護者懇談会で同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		年2回の保護者懇談会と送迎時、ラインで適宜行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母からの要望がほとんどなく、あっても、他のサークル活動への誘いにチラシを配布して欲しいという件しかないため、保留中である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		当法人の虐待防止対応規定に則り適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月発行している「なかよし園だより」やSNSで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		当法人の個人情報の取扱い規定に則り適切に対応している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子供と保護者の関係から、特にラインや電話で、その日の出来事を伝えるよう配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		当法人のの夏祭りに招待をしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		時機に応じて実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		当法人のBCP計画に則り、定期的を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		必要な情報を網羅した表を作成し確認している。特に服薬は「薬を飲む時間」をメインルームに表示し、飲み終わったら名前欄をひっくり返して、飲み終わった表示にしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示通りで対処している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		当法人の安全計画のもと適切に支援を実施している。	実施した訓練の様様を「なかよし園だより」に掲載しているが、何となく見た、見落としという家族もあるかもしれないことから、もっと家族へ積極的に報告する必要がある。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に伝えている。	園だより、ラインでも周知することを検討中
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		各種事故報告として、「事故報告」「車両事故報告」「ヒヤリハット」と区分しており、その都度検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		当法人の「虐待防止対応規定」に基づき対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		当法人の「虐待防止対応規定」に基づき対応している。	当園では身体拘束は虐待と考えており、そこに至る前に善処することから、計画には載せていない。	